

本校では、昨年度までの2年間、外国語活動の研究を行ってきた。昨年度その研究公開を終え、とりあえず節目とし、本年度から下の新たなテーマで研究をスタートすることになった。しかしながら、下の研究主題からは、幅広く、いろいろな研究内容が考えられる。そこで、研究の方向性をしっかりと定め、焦点化を図るために、本校の子どもの実態把握や教師の思いを調査研究することから始め、具体的にどのように研究を進めるのかを協議し、次のような構想を立てた。

1 23年度研究の構想

<p>【研究主題】 思いやりの心を持ち、豊かな人間関係を築く子どもの育成 ～お互いを認め、みがき合う集団づくりの研究～</p>	
<p>【願う子ども像】 <input type="radio"/> 自分の思いや考えをもつことができる子ども <input type="radio"/> 自他のよさを認め、伝え合うことのできる子ども</p>	
<p>【研究仮説1】 各教科において、自分の考えを持ち、友達と伝え合うことのできる授業を展開すれば、互いに認め、みがき合う子どもが育つであろう。</p> <p>【研究仮説2】 教科以外の活動において、人間関係をよりよくする体験の場を意図的に設定すれば、互いを認め、みがき合う子どもが育つであろう。</p>	
<p>【研究組織・研究内容】 ◆ テーマ研修の計画や理論面については、テーマ研修推進委員会(研修係、教務係、各班長で構成)を設置し、迅速に各班におろしていく体制を組む。</p>	
<p><u>仮説1研究班・・・みがき合う授業づくり研究班</u> (主となる研究内容) <input type="radio"/> みがき合う授業における基本的な指導法の確立 ・「自分の考えをもつ」ための手立て ・「考えを伝え合う」ための手立て ・「子ども相互が認め合える」ための手立て</p>	<p><u>仮説2研究班・・・つながる人間関係づくり研究班</u> (主となる研究内容) <input type="radio"/> 子ども同士がつながる活動計画及び実践 ・自己肯定感を高める実践 ・学級集団における適応感を高める実践 ・友人関係を高める実践 <input type="radio"/> 学習規律と集団規律の確立のための実践 <input type="radio"/> 教師と子どもの信頼関係づくりの実践</p>

2 これまでの研究実践

(1) 仮説I研究班(授業づくり班)の実践

ア 研究の視点を入れた指導案形式の作成

今回、研究教科はしぼらずに、研究授業を2回(11月、1月)実施することにした。そこで、指導案については、どの教科にも対応できること、指導案作成だけに時間がかかりすぎず、教材準備等いろいろな面に時間をかけられること、また、研究に関わる授業づくりの視点が明確になることを重要視して、指導案形式を工夫することにした。

《指導案形式》

【1案】 ○○科学習指導案

平成 年 月 日 校時
年 組
男子 名 女子 計 名
指導者 ○○○ ○○○

1 単元名
2 単元の目標
○
○
3 単元について
この期の子どもたちは、これまでに……

子どもの実態(調査人数 名 調査日 平成 年 月 日)
※ 研究テーマに関連する事項を中心に調査項目を設定する。

(考査)
……

5 本時 (/)
(1) 本時の目標 (*教科等の目標とともに、研究テーマとの関わりについての目標も設定する。)
ア ~できる(教科)
イ ~できる(研究テーマと関連)

(2) 指導に当たって (*研究仮説1を検証するための3つの視点についての手立てを入れる)
① 視点
ア 「自分の考えをもつ」ための手だてとして……させたい。
イ 「考えを伝え合う」ための手だてとして……したい。
ウ 「子ども相互が認め合う」ための手だてとして……。 (*記述の形式は問わない。)

(3) 展開

過程	主な学習	時間	指導上の留意点(○)、視点(☒)、教具(●)
導入	1	○分	○ ~する。 ○ ~させる。
	2 学習のめあてをたてる。		○
			(●PC等)

展開	3	○	考 伝	(●ワークシート等)
	(1) (2)	○分		
終末	6	○	認	
		○分		

※ この後に、必要に応じて板書計画・座席表・ワークシート・本文の写し等を加える。

イ 一人1授業の取組体制

研究授業以外に、一人1授業と称して、担任、専科をもつ全教員が、子どもが互いに認め、みがき合う授業づくりに努め、その成果や課題をまとめて報告する体制を組んだ。多くの授業実践から、より効果的な指導法が見出せ、さらに研究を深めるポイントが明らかになるのではないかと期待する。

《一人1授業の報告書形式》

○○科学習指導案

平成 年 月 日 校時
年 組
男子 名 女子 計 名
指導者 ○○○ ○○○

1 単元名(教材名)
2 本時 (/)
(1) 目標
ア ~できる
イ
(2) 指導に当たって (*3つの視点についての手立てを入れる)
ア 「自分の考えをもつ」ための手だてとして……させたい。
イ 「考えを伝え合う」ための手だてとして……したい。
ウ 「子ども相互が認め合う」ための手だてとして……。 等

(3) 展開

過程	主な学習	時間	指導上の留意点(○)、視点(☒)、教具(●)
導入	1	○分	○ ~する。 ○ ~させる。
	2 学習のめあてをたてる。		○
			(●PC等)
展開	3	○分	○
	(1) (2)		考 伝
終末	6 本時を振り返り、まとめる。	○分	○
			認

(4) 評価

3 授業の様子 * 3つの視点の様子等をまとめる。写真等を添付してもよい。

(1) 「自分の考えをもつ」場面
(2) 「考えを伝え合う」場面
(3) 「子ども相互の認め合い」の場面

4 成果と課題
(1) 成果
(2) 課題

※1 授業の実施時期は各担任に一任するが、2月末までが望ましい。
※2 上記の様式(1~4)で授業実施後のまとめを行い、2月末までに研修係へ1部提出する。
※3 研修係を中心に実践資料集としてまとめ次年度へつなげる。

(2) 仮説2 研究班(人間関係づくり班)の実践

ア 子どもがつながる活動の演習

子ども同士の関わりを持たせ、よりよい関係づくりを築くために活動として構成的グループ・エンカウンターエクササイズを中心に上げ、その演習を定期的に行っている。その手法を身につけ、朝の会や帰りの会、学級活動、道徳など様々な教育活動に組み入れ実践できればと考える。

《演習ワークシート》

グループで活動するエクササイズ

「アドジャン」(SGE)

(おらい) グループ内の人を理解することができる。
 (時間) 5～10分
 (準備力)

- 2分間いろいろな人とジャンケンをして、勝った数をカウントする。誰が一番多く勝ったか確認し、チャンピオンにみんなで拍手を送る。
- 4～6人程度でグループをつくり、質問シートを用意する。5本指ジャンケンをして、指の合計の本数の質問項目にそれぞれ全員答える。(繰り返す。)
- 質問については、最初は①について答える。2回目は②について答える。答えられなかったらパスしてもよい。
- グループ内で感想を話し合う。

質問シート	
合わせた数	質問項目
0	① 生まれ変わるとしたら、男、女? どうして? ② 好きな異性のタイプ
1 (11)	① 親がいてありがたいと思うこと ② 最近のニュースで気になること
2 (12)	① 自分の弱点 ② もし、100万円を一人で作るとしたら何をやるのか?
3 (13)	① 好きな食べ物 ② 部活動の思い出
4 (14)	① 好きな芸能人 ② 小学校のときの失敗談
5 (15)	① 自分の住んでいるところの紹介 ② 飼っている(飼ってみたい)動物は?
6 (16)	① 自分となりにいる人の印象 ② 自分のいいところ
7 (17)	① 将来の夢(野望でも) ② 一番古い思い出は何歳の頃?どんなこと?
8 (18)	① 自分の学校のいいところ ② 最近うれしかったこと
9 (19)	① 今一番行ってみたいこと ② きらいな食べ物
10 (20)	① 好きなテレビ番組(ジャンル)は? ② 海と山どっちが好き?そのわけは?

「二者択一ワークシート」

【 】月【 】日【 】年【 】組 名前【 】

- 海か山か
- 和食か洋食か
- 多数の友人か少数の親友か
- ご飯かパンか
- サッカーか野球か

ふりかえり(感じたこと・考えたこと・気づいたこと)

イ 一人1実践の取組体制

一人1授業と同様に、子どもがつながる実践(教科以外)を全教員が行い、それをまとめ報告する。また、子どもたちが豊かな人間関係を築くための実践を計画するうえで、参考資料となる資料となるチェックリストを作成することにした。教師が目の前の子どもたちに接し、よりよい人間関係をつくるためにどんなことが必要か、また、どんな点が足りないのかといった視点で学級の子どもたちを分析し、それに対する手立てを考えることができるものである。

【 】年【 】組 人間関係づくり実践シート

観点【自分・仲間・集団】づくり

教科・領域等	朝の会、帰りの会、教科【 】 道徳【資料名: 徳目 - 】 単元【 】 学級活動 総合的な学習の時間 単元【 】 外国語活動 英語ノート1・2 Lesson【 】 学校行事【 】 生活単元学習 児童会活動【 】	【 】
実施時期	1学期【 】月 2学期【 】月 3学期【 】月 通年	
活動場所	教室 体育館 校庭 図書室 その他【 】	
対象規模	4～5人の小グループ 6～10人のグループ 学級全体 学年全体 全校	
所要時間	5分未満 5～10分 10～15分 1単位時間	
主な学習活動		授業の様子(反応、つぶやき、活動の写真)
1		
2		
3		
4		

◆ 実践を振り返って(個・グループ・学級集団の変容・行動、つぶやき、日記、写真等)

ウ 子どもの実態把握のためのアンケート(中郡キラキラシート)の作成

人間関係において、子どもたちの現段階の状況を把握する、また今後、研究実践の成果探るために調査シートを作成することにした。

《キラキラシート4～6年用》

なごこおり キラキラシート(4～6年生用)

これは、あなたや、クラスの友だちが、クラスで、安心して、生活するためには、どうしたらよいかを、考えるためのものです。次の1～23の質問に対して、あなたの気持ちに、いちばん、近いものを○でかこんでください。

()年()組()番(男・女) 名前()

1 クラスについて

	4	3	2	1
1 あなたのクラスは、明るく楽しい みんなの集まりですか。	そう思う	少し思う	あまり 思わない	思わない
2 あなたのクラスは、仲がよく 楽しい集まりですか。	そう思う	少し思う	あまり 思わない	思わない
3 あなたのクラスでは、ルールが守られ みんなが気持ちよく過ごしていると思 いますか。	思う	少し思う	あまり 思わない	思わない
4 あなたのクラスでは、だれかが悲しむよ うな、苦痛を 感じますか。	まったく 思いません	ほとんど 思いません	時々 あります	よく あります
5 あなたのクラスは、問題があつた時、み んなで考え、解決しようとしていると思 いますか。	思う	少し思う	あまり 思わない	思わない

2 クラスの友だちについて

	4	3	2	1
6 「いっしょに遊ぼう」と声をかけて くれる友だちが、いるとおもいますか。	思う	少し思う	あまり 思わない	思わない
7 何でも話して、分かってくれる 友だ ちが、いるとおもいますか。	思う	少し思う	あまり 思わない	思わない
8 困っているときに、助けてくれる 友 だちが、いるとおもいますか。	思う	少し思う	あまり 思わない	思わない
9 友だちが、ひまみや、釣ざくを、守っ てくれるとおもいますか。	思う	少し思う	あまり 思わない	思わない
10 あなたは、悪口や、厚い舌で 友 だちから、ききつけられることがあります か。	まったく 思いません	ほとんど 思いません	時々 あります	よく あります

3 クラスの中の友だちについて

11 友だちと、いっしょに、遊んでいま すか。	遊んで います	時々 遊んでいます	あまり 遊んでいません	遊んで いません
12 クラスの友だちや先生から、ほめられ たり、けじめされたりすることがありま すか。	ある	時々 ある	あまり ありません	あり ません
13 クラスの友だちや先生から「ありが とう」と言われることが、ありますか。	ある	時々 ある	あまり ありません	あり ません
14 あなたは、先生や友だちから、たよ りにされることや、クラスの役に立っ ていると、感じることがありますか。	ある	時々 ある	あまり ありません	あり ません
15 クラスの友だちや先生は、あなたの話を しっかりと聞いてくれるとおもいま すか。	思う	少し思う	あまり 思わない	思わない


※ うらにいいましょう。

4 授業について

	4	3	2	1
16 授業中に「できた」「わかった」等ど と満足感を覚えることがありますか。	ある	時々 ある	あまり 思わない	思わ ない
17 自分の考えをノートに書く、式事写とこ ろに印をつける 等と、進んで授業に 参加しているとおもいますか。	思う	時々 思う	あまり 思わない	思わ ない
18 授業の中で、自分で、工夫したり、別の やり方を、考えたりすることがありま すか。	よく ある	時々 ある	あまり 思わない	思わ ない
19 授業で分からなかったことを、先生や友 だちに、たずねることがありますか。	よく ある	時々 ある	あまり 思わない	思わ ない
20 授業中に、自分から、やってみよう(開 くべし、作ってみよう)と思うことがあ りますか。	よく ある	時々 ある	あまり 思わない	思わ ない

5 担任の先生について

	4	3	2	1
21 あなたは、先生に、ほめられることが ありますか。	ある	ときど きある	あまり 思わない	思わ ない
22 あなたは、先生と、話をしていますか。	している	ときど きして います	あまり 思わない	して いません
23 あなたが、こまったとき、先生に、たず ねてくれるとおもいますか。	そう おも う	時々 そう おも う	あまり 思わない	あ まり 思わ ない



アンケートはおわりです。
ありがとうございました。

3 今後について

現在、研究実践の土台がやっとできあがったという状態である。ここから研究授業、一人1授業、ショートエクササイズの演習、一人1実践を行い、研究を一気に進めていく計画である。今後その成果と課題を明確にしなが、研究をまとめていきたい。そして、豊かな人間関係を築くことにつながる、授業やその他の教育活動における本校なりの指導法や実践を追求していきたい。